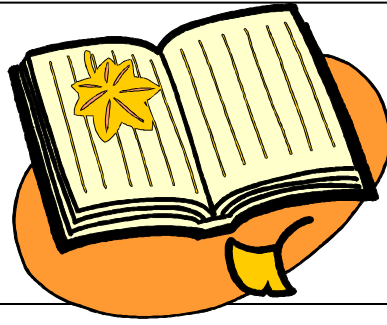


産地 直送便



発行（農）山形おきたま
産直センター
山形県南陽市漆山 1068
TEL 0238 (47) 7338
<http://www.okitama.net/>
2010.10.1 発行
責任者 星 隆之

～2010年産米 新米のご挨拶～



夏の猛暑にも、農政の荒波にも負けず今年も美味しいお米が出来ました。
安全・安心はもちろん、田んぼに住むトンボやカエルなどの生き物を育てながら、体にも心にも優しい味のお米です。ぜひご賞味下さい。
今年の農村は、収穫の秋を素直に喜べない事態がおきています。
豊作や消費減退を理由に、国では米が40万トン余るとし、生産者米価を大幅に引き下げたからです。しかし、40万トンは国民の消費量で見れば、わずか18日分です。
しかも生産者米価の暴落が、そのまま消費者米価の引き下げにつながるものではありません。現在の米価は、15年前の半分以下です。
なぜこのようなことになったのでしょうか。これは自民党農政の基で、米の流通をまったく自由化し、さらに民主党は需給調整すらやらせないためです。
米を作る農民の日当は、今年の米価でも時給200円前後、今年の米価ではまったくの赤字です。これでは、農家の担い手は育ちません。農家に携わる人の6割が65歳以上という他の産業では考えられない状態です。
コストを無視した低米価で農家経済はもとより、地域社会は疲弊しきっています。

来年の米づくりを応援して頂けるのは、私達が真心を込めてつくったお米を食べて下さる消費者の皆さまです。

1杯30円弱のご飯をたくさん食べて頂き、日本の米づくりにお力をお貸し下さい。



農事組合法人
山形おきたま産直センター
代表理事組合長 渡沢 賢一

おきたまの神無月

稲刈り 今年9月下旬～稲刈りがはじまりました。10月上旬～中旬が最盛期となります。晩生種や山間地帯の稲刈りは10月下旬頃まで続きます。

いつもサンキュ～キャンペ～ン実施中 クイズに答えてプレゼントを当てちゃおう